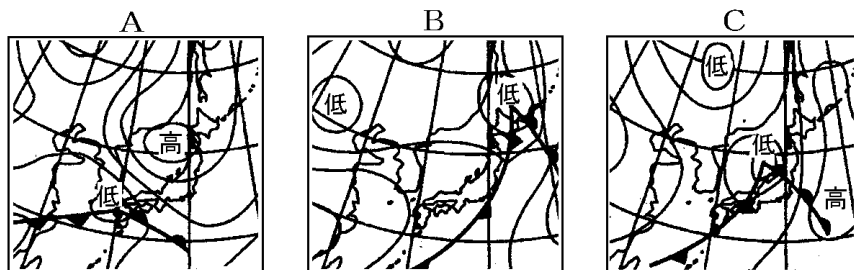


【】日本の天気

【】偏西風と天気の変化

[問題](1 学期期末)

下の A~C の図は 3 日間連続して午前 9 時に作成した天気図である。次の各問いに答えよ。



- (1) A~C の天気図を、日付のはやいものから順に記号を並べよ。
- (2) この天気図に見られる低気圧が移動した方向を、次から 1 つ選べ。
[南西 北東 北西 南東]
- (3) 低気圧が日本付近を(2)のように移動するわけを、簡単にかけ。

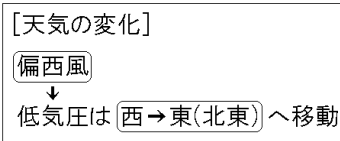
[解答欄]

(1)	(2)
(3)	

[解答](1) A, C, B (2) 北東 (3) 上空の偏西風のために低気圧等は西から東へ移動するから。

[解説]

日本付近では、上空の偏西風の影響で、低気圧や移動性高気圧(揚子江気団)は西から東(または北東)の方へ 1 日に 500~1000km 移動する。前線をともなう低気圧の位置に注目すると、A→C→B の順であることが分かる。これらの天気図では、前線をともなった低気圧の中心は北東の方向に移動している。



[問題](3 学期)

次の文の ~ に適語を入れよ。ただし, , には東西南北のいずれかの語が入る。
低気圧や()高気圧(()気団)は,おおよそ()から()の方向に移動している。これは,上空に流れている()風の影響である。このように,普通,日本の天気は()から()の方向に変化する。

[解答欄]

[解答] 移動性 揚子江 西 東 偏西

[問題](増補 11)(前期中間)

気象を表すことわざに、『夕焼けは晴れ』というものがある。これを説明した次の文章の空欄をうめて文章を完成させなさい。

昔から、天気は()から()に変化することを経験的に知っていたので、夕焼けが見える()の空に雲のない空間が広がっていると、その晴れの空間が次の日には上空に来るとわかっていたからである。

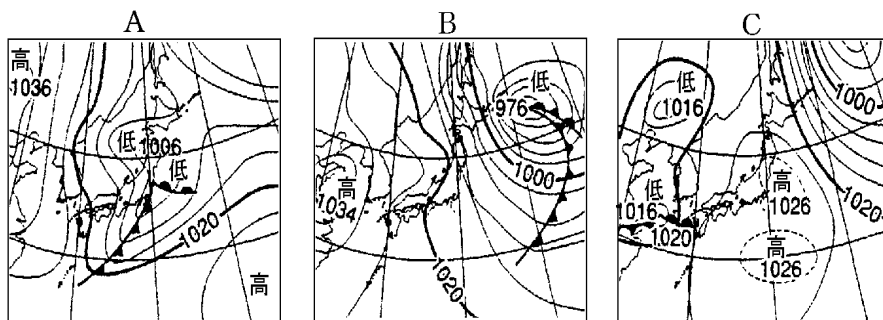
[解答欄]

--	--	--

[解答] 西 東 西

[問題](3 学期)

連続した 3 日間の天気図を観測したところ、2 日目に、日本付近で、突風や気温の低下が観測された。下の図は、この 3 日間の正午の天気図である。ただし、日付順に並んでいない。



- (1) 図の A～C の記号を、日付が早い順に並べよ。
- (2) (1)のように答えたのはなぜか。「低気圧や前線は・・・から」の形の文を完成させよ。
- (3) (2)のようになるのは、日本付近の上空でふいている風の影響である。その風を何と
いうか。
- (4) 2 日目の日本付近の風向は()よりから、()よりに変化した。 , に「南」
または「北」の語句を入れよ。
- (5) 2 日目に通過した前線は何か。

[解答欄]

(1)	(2)		
(3)	(4)		(5)

[解答](1) C A B (2) 低気圧や前線は西から東に移動するから。(3) 偏西風 (4) 南北 (5) 寒冷前線

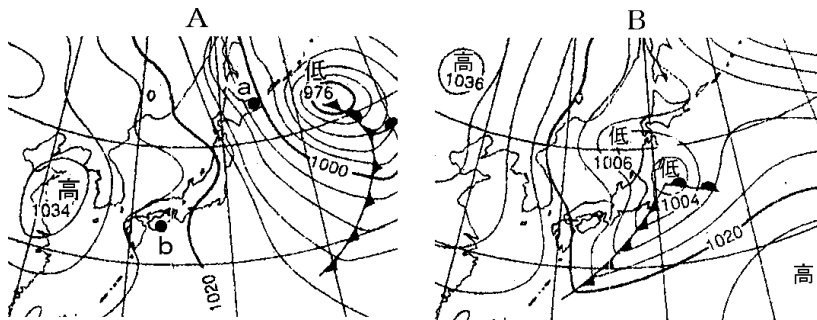
[解説]

2日目の天気図 A を見ると、寒冷前線かんれいぜんせんが日本付近を西から東に移動していることがわかる。地球の自転の影響で、風は等圧線に垂直ではなく、進行方向に向かって 60°ぐらい右にそれるので、右図のように、寒冷前線の進行方向の前方の P 地点では、南～南西方向から風がふいてくる。また、寒冷前線の進行方向の後方の Q 地点では、北～北西の方向から風がふいてくる。寒冷前線は西から東へ移動するので、P 地点の等圧線は、右図のような状態から Q 地点のような状態に変化し風向きが変わる。



[問題](1 学期期末)

下の図は、連続した 2 日間の天気図である。次の各問いに答えよ。



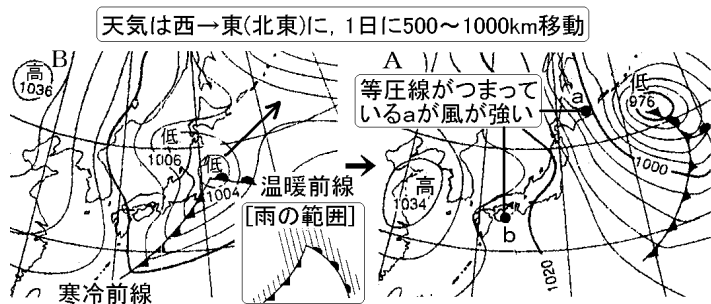
- (1) 1 日目は, A, B のどちらか。
- (2) 図 A の a と b では, どちらのほうが強風がふいているか。
- (3) 全国的に雨が多かったのは, A, B のどちらか。
- (4) 3 日目は全国的にどんな天気と考えられるか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

[解答](1) B (2) a (3) B (4) 晴れ

[解説]



- (2) とうあつせん 等圧線がつまっているほど風が強いので、aのほう^が風が強いと考えられる。
- (3) おんだんぜんせん 温暖前線の前方、かんれいぜんせん 寒冷前線の後方、低気圧の中心付近では雨が降る。1日目(B)では日本列島はこの雨の範囲にはいっており、全国的に雨が多い。
- (4) 3日目にはAの左側にある高気圧が日本列島の上をおおうと予想される。高気圧付近では下降気流が生じ、雲が消えて天気がよい。

【】海陸風

[問題](増補 11)(補充問題)

海岸地方でふく海陸風について、次の各問いに答えよ。

(1) 海風が吹くのは、1日のうちいつごろか。次の[]の中から1つ選べ。

[日中 夜間 夜明け 夕方]

(2) 海風が吹くとき、海と陸では、どちらの温度が高いか。

(3) 海風と陸風が入れかわるとき、一時的に風がやむ。この現象を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 日中 (2) 陸 (3) なぎ

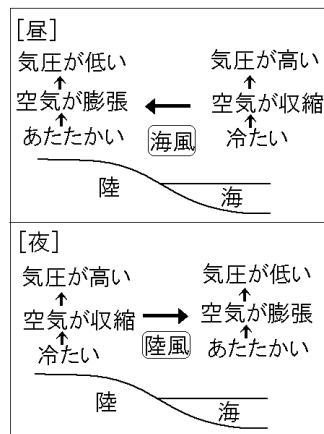
[解説]

海に面した地域では、^{かいりくふう}海陸風という風がふく。海陸風は、^{きせつふう}季節風と似た現象で、風向きが1日のうちで変化する。岩石は暖まりやすく冷えやすいが、水はあたたまりにくく冷えにくい。このため、昼間は陸地の温度が海よりも高くなる。空気は暖められると膨張して密度が小さくなり気圧が低くなる。したがって、昼間は陸地側の気圧が海側の気圧より低くなり、風は海側から陸側にふく。これを海風という。

夜間は、陸地の温度は海よりも低くなる。空気は冷やされると収縮して密度が大きくなり気圧が高くなる。したがって 夜間は陸地側の気圧が海側の気圧より高くなり、風は陸側から海側にふく。これを陸風という。

海風と陸風が入れかわる朝方と夕方には、風が止まる時間帯がある。これを、朝なぎ、夕なぎという。

この海陸風の現象は、夏に顕著である。夏は、陸地の昼夜の温度差が大きいためである。



[問題](増補 11)(補充問題)

海風がやむのは、一日のうちのいつごろか。次の[]から1つ選べ。

[夜明け 日ぐれ 真昼 真夜中]

[解答欄]

[解答]日ぐれ

[解説]

海風がふくのは昼間である。日ぐれどき、海風が止んでなぎの状態になり、夜になると陸風にかわる。

[問題](増補 11)(補充問題)

海岸地方で生ずる海陸風について、次の各問いに答えよ。

- (1) 海風(海から陸に向かう風)、および陸風(陸から海に向かう風)のそれぞれが起こる原因と考えられるのは、次のどれか。
- ア 海水が陸地より冷えにくく、海上に上昇気流が起こり、気圧の差ができる。
 - イ 海水が陸地よりあたたまりやすく、陸上に上昇気流が起こり、気圧の差ができる。
 - ウ 陸地が海水より冷えにくく、海上に上昇気流が起こり、気圧の差ができる。
 - エ 陸地が海水よりあたたまりやすく、陸上に上昇気流が起こり、気圧の差ができる。
- (2) 海陸風が、日本でおもに夏に吹くのはなぜか。次のア～エから 1 つ選べ。
- ア 夏は日射が強く、海と陸の温度差が小さい。
 - イ 夏は海水の温度が高い。
 - ウ 夏は海より陸が昼夜の温度差が大きい。
 - エ 夏は台風が多い。

[解答欄]

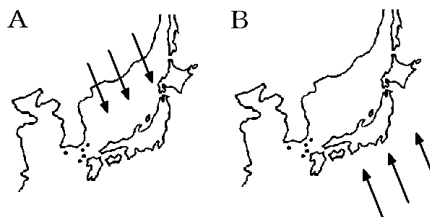
(1)海風：	陸風：	(2)
--------	-----	-----

[解答](1)海風：エ 陸風：ア (2) ウ

【】季節風

[問題](増補 11)(補充問題)

右の図の A, B は、それぞれある季節にふく風の方向を示している。次の各問いに答えよ。



- (1) A, B のように季節によってふく方向が決まっている風を何というか。
- (2) 冬と夏の(1)はそれぞれ A, B のどちらか。

[解答欄]

(1)	(2)冬：	夏：
-----	-------	----

[解答](1) 季節風 (2)冬：A 夏：B

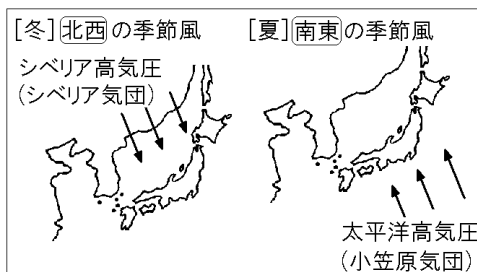
[解説]

岩石と水は温まり方(冷え方)に違いがあるが、この違いが季節風をもたらす。岩石は暖まりやすく冷えやすいが、水はあたたまりにくく冷えにくい。このため、冬に大陸は海よりも低温になる。空気は冷たくなると収縮して密度が大きくなるため、気圧が高くなる。したがって、冬は大陸側が高気圧になり、海側の気圧が低くなる。



冬にはシベリア高気圧(シベリア気団)が発達し太平洋側は気圧が低くなり西高東低の気圧配置になるため、北西の季節風がふく。

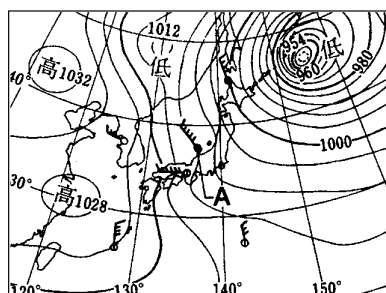
夏は、岩石よりなる大陸の気温が海側より高くなる。空気は暖められると膨張して密度が小さくなり気圧が低くなる。海側の気圧が相対的に高くなり、太平洋には太平洋高気圧(小笠原気団)が発達し、南東の季節風がふく。



[問題](増補 11)(1 学期中間)

右の図は、冬のある日の天気図の一部である。次の各問いに答えよ。

- (1) このとき大陸で発達している高気圧は、何という気団か。
- (2) この季節にふく季節風の風向を書け。
- (3) 西に高気圧、東に低気圧があることから、この気圧配置を「()の冬型の気圧配置」という。()にあてはまる語を書け。



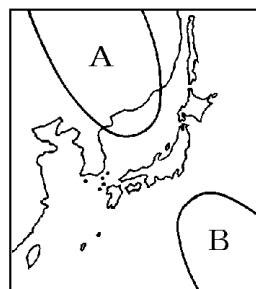
[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) シベリア気団 (2) 北西 (3) 西高東低

[問題](増補 11)(1 学期中間)

右の図は、日本付近にできて日本に大きな影響を及ぼす、湿度や温度などの性質が同じ大規模な空気のかたまりを示している。



- (1) このような空気のかたまりの影響により決まった時期・方角からふく風を何風というか。
- (2) A, B の気団の名称を書け。
- (3) A, B それぞれが日本付近に最も強く影響をおよぼす時期を次の[]より選べ。

[1月 6月 8月 10月]

[解答欄]

(1)	(2)A	B	(3)A
B			

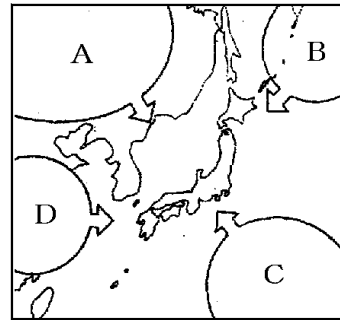
[解答](1) 季節風 (2)A シベリア気団 B 小笠原気団 (3)A 1月 B 8月

【】4つの気団

[問題](3 学期)

右の図の A～D は、日本付近に影響を与える大きな空気のかたまりです。

- (1) このような空気のかたまりを何とといいますか。
- (2) 海上に発生する B, C に共通する性質は何ですか。
- (3) 日本の南に発生する C, D に共通する性質は何ですか。



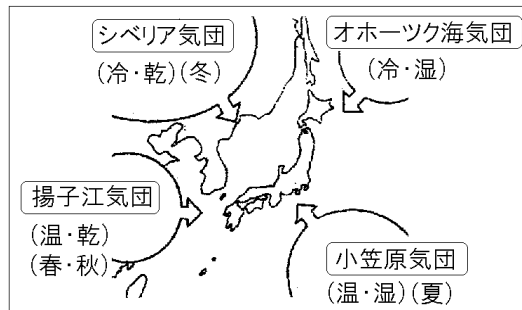
[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 気団 (2) 湿度が高い。 (3) 気温が高い。

[解説]

温度や湿度に特有の性質をもつ大きな空気のかたまりを気団きだんという。小笠原おがさわら気団とオホーツク海気団は、海上に発生するので湿度が高い。これに対し、シベリア気団や揚子江気団は大陸で発達するので乾燥している。また、南に位置する小笠原気団と揚子江気団はあたたかく、北に位置するシベリア気団とオホーツク海気団は冷たい。



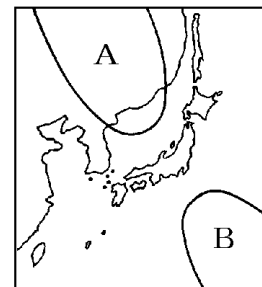
[問題](増補 11)(1 学期中間)

右図の A, B の気団にあてはまるものを次のア～カよりそれぞれ 3 つずつ選び、記号で答えよ。同じ記号を 2 度使ってもよい。

- ア あたたかい イ 冷たい ウ 高気圧
エ 低気圧 オ 乾燥している カ しめっている

[解答欄]

A	B
---	---



[解答]A イ, ウ, オ B ア, ウ, カ

[問題](増補 11)(1 学期期末)

右の図は日本のまわりにある気団を表したものである。次の各問いに答えよ。

- (1) A, B の気団名を答えよ。
(2) C, D の気団の性質を次の[]の中から選べ。

[高温で多湿 高温で乾燥 低温で多湿
低温で乾燥]



[解答欄]

(1)A	B	(2)C
D		

[解答](1)A シベリア気団 B オホーツク海気団 (2)C 高温で乾燥 D 高温で多湿

[問題](増補 11)(1 学期中間)

シベリア気団の性質を 2 つ書け。

[解答欄]

[解答]冷たい。乾燥している。

[問題](増補 11)(1 学期中間)

右の図は、日本の天気に影響をおよぼす代表的な 2 つの気団です。次の各問いに答えなさい。

- (1) 乾燥した気団は、A, B のどちらですか。
(2) 寒冷的な気団は、A, B のどちらですか。
(3) B の気団が日本をおおう季節はいつですか。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

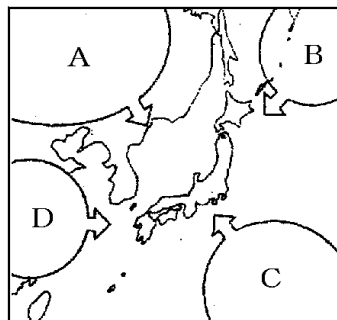
[解答](1)A (2)A (3) 夏

【】梅雨～夏

[問題](3 学期)

右の図の A～D は、日本付近に影響を与える大きな空気のかたまりです。

- (1) 梅雨の頃、日本の上空でぶつかる 2 つの気団は A～D のどれとどれですか。
- (2) 夏に発達する気団は A～D のどれですか。

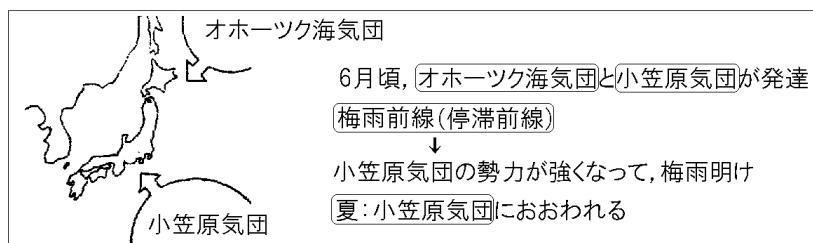


[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) B と C (2) C

[解説]



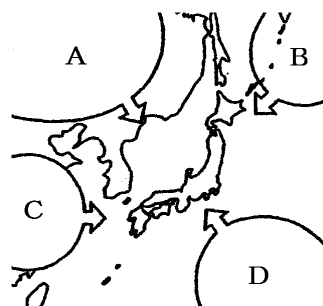
6 月頃、オホーツク海気団^{かいまだん}と小笠原気団^{おがさわら}が発達して、接して勢力がつり合う。この前線は停滞前線^{ていたいぜんせん}の一種で梅雨前線^{ばいう}ともよばれる。前線上に小さい低気圧ができてぐずついた天気が続く。7 月になると、しだいに小笠原気団の勢力が強くなって、梅雨前線を北へ押し上げる。これが梅雨明けである。夏は、日本は小笠原気団におおわれるため、蒸し暑い晴天が続く。

[問題](増補 11)(1 学期期末)

右の図は日本のまわりにある気団を表したものである。次の各問いに答えよ。

- (1) 6 月の天気はくもりや雨などぐずついた天気が多い。このころできる前線を何というか。
- (2) 6 月の(1)の場合、どの気団が関係しているか。

図の A～D から 2 つ選べ。



[解答欄]

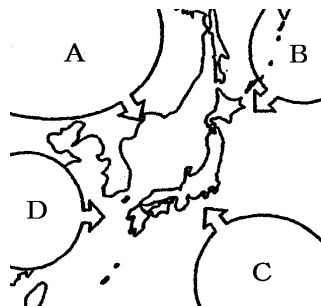
(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 梅雨前線(停滞前線) (2) B, D

[問題](3 学期)

図の A~D は日本付近に発生する温度や湿度に特有の性質を持つ、大きな空気のかたまりを示しています。次の各問いに答えなさい。

- (1) このような空気のかたまりを何といいますか。
- (2) 海上に発生する B, C の空気のかたまりに共通な性質は何ですか。
- (3) 夏に勢力を強め、日本を広くおおう空気のかたまりは A~D のどれですか。またその名称は何といいますか。
- (4) B と C の空気のかたまりの勢力がほぼ同じになるとき、その境界に、長雨をもたらす前線ができます。このような前線を何といいますか。また、その前線の記号を書きなさい。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

[解答](1) 気団 (2) 湿っている。 (3) C, 小笠原気団 (4) 梅雨前線(停滞前線),



[問題](3 学期)

次の文の ~ に適語を入れなさい。

日本の夏は()気団が日本の上空に張り出す。夏になる前には()気団と()気団がぶつかりあい、()前線をつくり、雨の降る日が続く。この時期をとくに()と呼んでいる。この()前線は 7 月末に津軽海峡付近で消滅するため、ふつう()地方には()はありません。

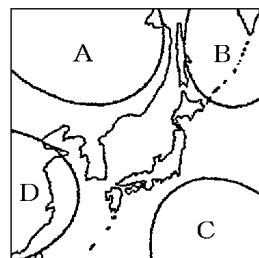
[解答欄]

[解答] 小笠原 オホーツク海 梅雨(停滞) 梅雨 北海道

[問題](増補 11)(3 学期)

右図の A~D は、日本付近にできる気団を表している。

- (1) 「冷たくて、乾いている」という特徴を持った気団はどれか。A~D の記号で答えよ。
- (2) おもに、夏に発達し、日本列島をおおい、蒸し暑い日をつくり出す気団はどれか。A~D の記号で答えよ。



[解答欄]

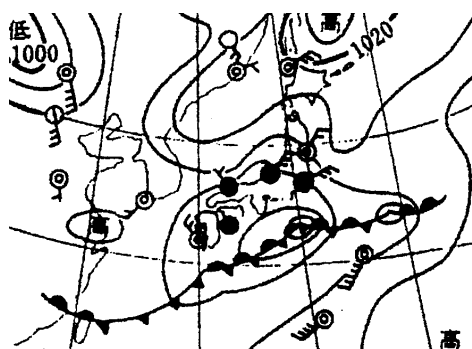
(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) A (2) C

[問題](1 学期中間)

右の図は、梅雨の時期に見られる天気図である。

- (1) 日本の南側に東西にのびる前線は、梅雨前線ともよばれている。この前線の種類の名前を書け。
- (2) (1)の前線は、ある2つの気団がふれあっている。この2つの気団の名前を書け。
- (3) (1)の前線の影響による天気の特徴について正しく述べたものを、次のア～エから1つ選べ。



- ア 積乱雲が発達し、雷雨をともなう。
- イ にわか雨や突風をもたらすことが多い。
- ウ ぐずついた天気が続く。
- エ 天気が周期的に変わる。

- (4) 秋にも同じような前線があらわれるが、この前線をとくに何というか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)		

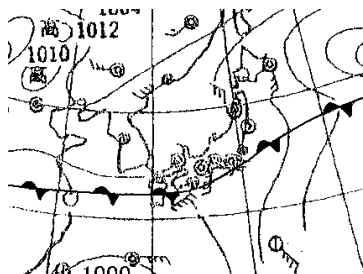
[解答](1) 停滞前線 (2) オホーツク海気団, 小笠原気団 (3) ウ (4) 秋雨前線

[解説]

夏の終わりから秋にかけて、^{おがさわらきだん}小笠原気団が弱まり、北の冷たいシベリア気団とオホーツク海気団が強まってくる。これらの南北の気団のさかい目に^{あきさめぜんせん}秋雨前線といわれる^{ていたい}停滞前線ができ、ぐずついた天気が続く。

[問題](1 学期期末)

右の図は、日本のある季節の天気図を示したものである。次の各問いに答えよ。



- (1) この天気図は何月のものと考えられるか。
- (2) 日本の南側にある前線は何か。

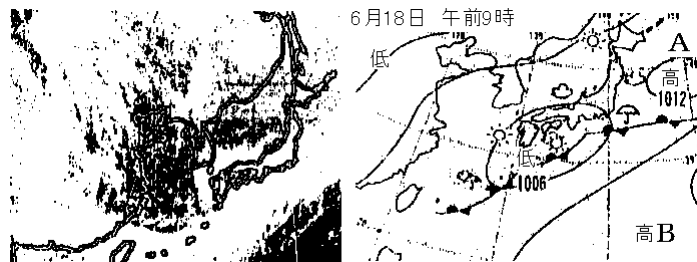
[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

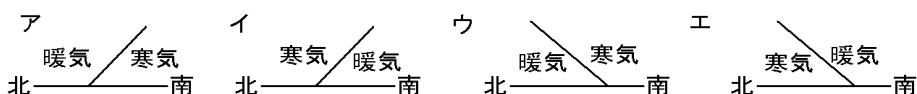
[解答](1) 6月 (2) 梅雨前線(停滞前線)

[問題](1 学期期末)

下の図は 6月 17 日の人工衛星の写真と 18 日の天気図である。次の各問いに答えなさい。



- (1) この写真を写した気象衛星の名前を何というか。
- (2) 日本の南にある前線を何というか。
- (3) この前線を南北で切った断面を表しているのは次のア～エのどれか。



- (4) 天気図の「高」は高気圧を表している。高気圧 A と高気圧 B を作り出している気団をそれぞれ何気団というか。また、それぞれの気団の空気の特徴を次のア～エより 2 つ選べ。

ア 寒冷(冷たい) イ 温暖(暖かい)
 ウ 湿潤(湿っている) エ 乾燥(乾いている)

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)A
(5)B			

[解答](1) ひまわり (2) 梅雨前線(停滞前線) (3) エ (4)A オホーツク海気団, アウ
B 小笠原気団, イウ

[解説]

図の日本の南にある前線は梅雨前線(停滞前線)である。この前線はあたたかくてしめったBの小笠原気団と、冷たくてしめったAのオホーツク海気団が接するところにある。北の冷たい空気は、南のあたたかい空気より重いので、(3)エのように、あたたかい空気の下にもぐり込む。

【】冬

[問題](増補 11)(1 学期期末)

次の文章にあてはまるように， ～ に適切な語句を入れよ。

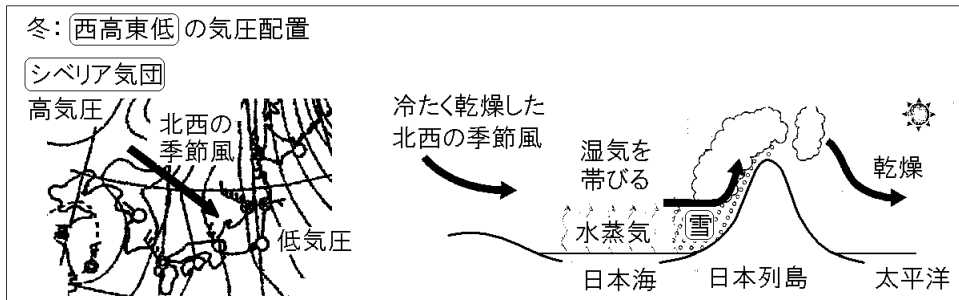
シベリア気団からふき出した風は，日本海で()が供給され，日本海側で()を降らせる。太平洋側は晴天で，湿度は()くなる。

[解答欄]

--	--	--

[解答] 水蒸気 雪 低

[解説]



冬には冷たく乾燥したシベリア気団が発達するため，西の大陸側の気圧が高く，東の太平洋側の気圧が低い西高東低の気圧配置となる。このため，北西の季節風が吹く。シベリア気団からふき出した乾燥した風は，日本海で水蒸気が供給され，日本海側の山地・山脈にあたって上昇気流が生じて雲を発生させ雪を降らせる。雪を降らせて水蒸気が少なくなった冷たく乾燥した季節風が吹くため，太平洋側は晴天で湿度は低くなる。

[問題](増補 11)(1 学期中間)

次の文の ～ にあてはまる語を書け。

冬の日本海側の天気は，()が降る日が多い。これは，シベリア気団からふく()く乾燥した空気が日本海上を通るとき，多くの()をふくみ，日本列島付近で雲をつくるためである。

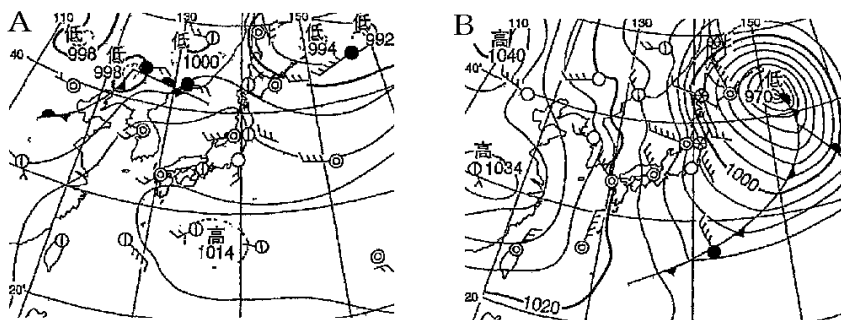
[解答欄]

--	--	--

[解答] 雪 冷た 水蒸気(湿気)

[問題](増補 11)(前期中間)

次の2つの天気図は、日本付近のある季節の天気図を表したものである。



- (1) A, Bの季節をそれぞれ答えよ。
- (2) Aの季節に影響をおよぼす気団の名前と、その特徴を答えよ。
- (3) Bの季節に影響をおよぼす気団の名前と、その特徴を答えよ。
- (4) Aの季節には日中の強い日射で強い上昇気流が生じて雷をともなう夕立が降ることがある。このときできる雲の名前を答えよ。
- (5) Bの季節には『西高東低』とよばれる気圧配置になり強い季節風が吹くことがある。その季節風の風向を答えよ。

[解答欄]

(1)A	B	(2)
	(3)	
(4)	(5)	

[解答](1)A 夏 B 冬 (2) 小笠原気団 暖かく湿っている。 (3) シベリア気団 冷たく乾燥している。 (4) 積乱雲 (5) 北西

【】春・秋

[問題](増補 11)(1 学期期末)

揚子江気団の高気圧は、日本へ移動してくることが多い。このような高気圧を何というか。

[解答欄]

--

[解答]移動性高気圧

[解説]

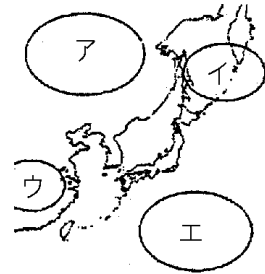
秋と春には、^{ようすこうきだん}揚子江気団が発達し、その一部が^{いどうせいこうきあつ}移動性高気圧となって日本を^{つうが}通過する。そのため、天気は 3~5 日ぐらいで周期的に変わる。

[問題](増補 11)(1 学期中間)

右図のア~エは日本の気候に影響を与える、空気のかたまり(気団)を表している。以下の気団はア~エのうちのどれであるか、記号と気団の名称を答えよ。

梅雨前線の成立に関わる気団(2 つ)

春、秋の移動性高気圧の成立に関わる気団(1 つ)



[解答欄]

[解答] イ, オホーツク海気団 エ, 小笠原気団 ウ, 揚子江気団

【】台風

[問題](増補 09)(補充問題)

次の各問いに答えよ。

- (1) 台風は日本の南方海上で発生するが、台風が発達する前の段階の低気圧を何というか。
- (2) 台風の中心付近で生じているのは、上昇気流か、下降気流か。
- (3) 台風の広い範囲にわたって、垂直に発達する雲は何か。
- (4) 台風は前線を伴うか。
- (5) 台風が日本付近で進路を東よりに変えるのは、何という風の影響を受けるためか。
- (6) 夏は大陸や日本海を通ることが多かった台風が、秋になると日本の南岸を通るようになるのはなぜか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)		

[解答](1) 熱帯低気圧 (2) 上昇気流 (3) 積乱雲 (4) 伴わない。 (5) 偏西風 (6) 小笠原気団が弱まるから。

[解説]

熱帯低気圧は熱帯地方に発生する低気圧で、前線を伴わない。熱帯低気圧が発達して中心付近の最大風速が 17.2m / 秒以上になったものを台風という。台風ははじめ西へ移動するが、しだいに北上し、日本付近では、偏西風の影響で東に進路を変える。台風を中心付近では激しい上昇気流が生じるので、積乱雲などが発達し激しい雨が降る。夏の台風は小笠原気団におかれて、そのまわりを大回りに進むので大陸や日本海を通ることが多いが、秋になると小笠原気団の勢力が弱まるために、日本の南岸を通るようになる。

[問題](増補 11)(2 学期実力)

次の各問いに答えなさい。

- (1) 熱帯地方で発生し、前線をともなっていない低気圧を何低気圧といいますか。
- (2) 台風は日本の北の方向へ移動していくにつれてその勢力を小さくしていきませんが、なぜそうなるのか考えて理由を書きなさい。

[解答欄]

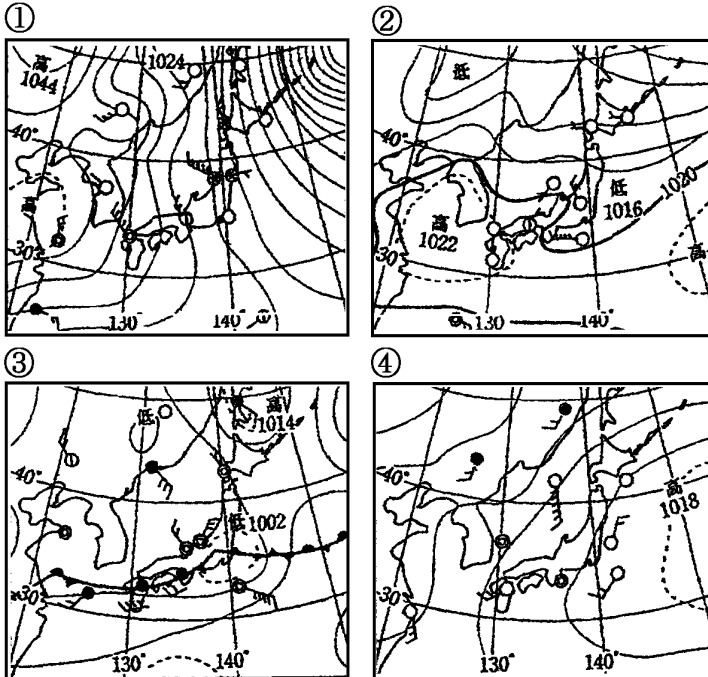
(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 熱帯低気圧 (2) 海面の温度が低くなり上昇気流が弱くなるから。

【】季節総合

[問題](1 学期中間)

下の図は、日本付近の春、夏、冬、梅雨の天気図である。これについて、次の各問いに答えよ。



- (1) 冬の天気図はどれか。番号で答えよ。
- (2) 冬の典型的な気圧配置を何というか。
- (3) の天気図で日本の天気大きく影響している気団を何というか。
- (4) の天気図にみられる前線を何というか。
- (5) オホーツク海気団の性質を答えよ。
- (6) ~ の天気図のうち、一定の天気が続かないで、晴れや雨などの天気が周期的に変化するのどれか。季節と天気図の番号を答えよ。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)		

[解答](1) (2) 西高東低 (3) 小笠原気団 (4) 梅雨前線(停滞前線) (5) 気温が低く、湿度が高い (6) 春,

[解説]

の天気図では、西の大陸の方に高気圧があり、東の方に行くにつれ気圧が低くなっており、等圧線が南北に走っている。これは冬の「西高東低」の気圧配置である。大陸の高気圧はシベリア気団である。の天気図では、日本付近の広い範囲で停滞前線が広がっている。この停滞前線はとくに梅雨前線とよばれ、6月ごろ日本では雨の日が続く。

の天気図では、太平洋に高気圧があることから、夏の天気図と判断できる。この高気圧は小笠原気団である。残ったは春の天気図と判断できる。九州の西付近にある高気圧は、揚子江気団から分かれた移動性高気圧と考えられる。春と秋に、移動性高気圧が定期的に日本を通過するため、天気は3～5日ぐらいで周期的に変わる。

[問題](1 学期期末)

下の図は日本付近の天気図である。次の各問いに答えよ。

図1

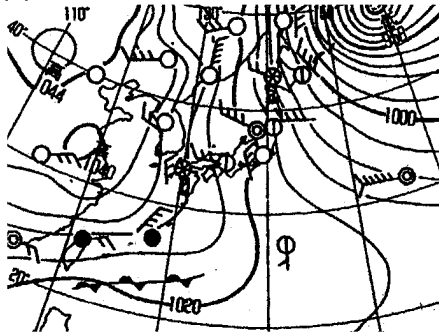
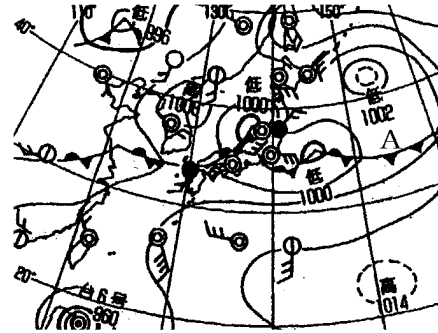


図2



- (1) 図1, 2の天気図はそれぞれいつの季節のものか。
- (2) 図2中のAの前線を何というか。
- (3) Aの前線は何という気団の影響でできたものか。2つあげよ。
- (4) 等圧線の間隔がせまいところでは風が強いかわ弱いかわ。

[解答欄]

(1)図1:	図2:	(2)
(3)		(4)

[解答](1)図1: 冬 図2: 梅雨 (2) 梅雨前線(停滞前線) (3) オホーツク海気団と小笠原気団 (4) 強い

[解説]

図1では西の大陸の方に高気圧があり、東の方に行くにつれ気圧が低くなっており、等圧線が南北に走っている。これは冬の「西高東低」の気圧配置である。図2では日本付近の広い範囲で梅雨前線がのびており、6月の梅雨期の天気図である。

[印刷 / 他の PDF ファイルについて]

このファイルは、FdData 中間期末理科 2 年(7,200 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdData 中間期末理科 2 年は Word(または一太郎)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

FdData 中間期末(社会・理科・数学)全分野の PDF ファイル、および製品版の購入方法は <http://www.fdtype.com/dat/> に掲載しております。

下図のような、[FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData)]を、Windows のデスクトップ上にインストールすれば、FdData 中間期末・FdData 入試の全 PDF ファイル(各教科約 1500 ページ)を自由に閲覧できます。次のリンクを左クリックするとインストールが開始されます。

RunFdData(Word 版) 【 <http://www.fdtype.com/lnk/instRunFdDataWDs.exe> 】

RunFdData(一太郎版) 【 <http://www.fdtype.com/lnk/instRunFdDataTAs.exe> 】

ダイアログが表示されたら、【実行】ボタンを左クリックしてください。インストール中、いくつかの警告が出ますが、[実行][許可する][次へ]等を選択します。

【イメージ画像】



【Fd 教材開発 : URL <http://www.fdtype.com/dat/> Tel (092) 404-2266】